

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>【産業・雇用】</p> <p>○課題 新型コロナウイルス感染症を契機としたデジタル化などの社会経済環境の変化を踏まえ、起業・創業、経営改善、新事業展開など一貫した事業者支援により、地域ベンチャーの推進に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済環境の変化に適応しつつ、産学金官の連携により、若者等の起業・創業や地元企業の新たな領域での事業展開、第二創業などへの支援の充実を図るとともに、地域企業のDXを推進し、新ビジネスへの挑戦を促進していきます。</p> <p>○課題 施策評価の結果及びコロナ禍後の社会経済環境の変化などを踏まえ、地域資源を活かした産業の育成に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済環境の変化などを踏まえ、中小企業者への設備投資に係る融資支援や市産品の物産振興等により、地域資源を活かした産業の育成に引き続き取り組みます。</p>	<p>○起業に当たり、AOMORI STARTUP CENTERを利用した方ではないが、相談窓口があることはすごく心の拠り所になると思う。</p> <p>○AOMORI STARTUP CENTERの起業・創業件数は評価したい。相談員の方も精力的だ。ただ、実際に起業されている方から見ると、まだ足りないものがあるのかもしれない。</p> <p>⇒【上記2個を、課題等に反映】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>○女性のみでドローンによる農薬散布を行う団体を立ち上げたが、農業をしている人は朝が早い。青森市では農業が盛んだが、子どもを早朝から預かってくれる事業者は少ない。</p> <p>⇒【第2分科会「子育て支援」分野の課題に反映】</p> </div> <p>○青森市の産業構造は圧倒的に第3次産業が多い。対面型の非製造業がこれからも中心であるだろう。AOMORI STARTUP CENTERで起業・創業件数を増やしていくことも大事だが、既存産業のDX化についても進める必要がある。</p> <p>⇒【課題等に反映】</p>	<p>○進学や就職などを契機とした若者の域外流出が継続しており、本市に魅力ある仕事不足していることが要因の一つと考えられています。</p> <p>○人口減少の進展により労働力が不足していることや、事業所数・就業者数で最も割合が大きい卸売業・小売業において、事業所数、市内総生産額ともに減少していることなどから、地域経済の規模縮小が懸念されています。</p> <p>○市内総生産額はピーク時（平成12年度）と令和元年度を比較すると15%減少しています。また、1人当たりの市民所得（令和元年度）は、東北の県庁所在市の中で最も低くなっています。</p>	<p>○社会経済環境の変化に適応しつつ、産学金官の連携により、若者等の起業・創業や地元企業の新たな領域での事業展開、第二創業などへの支援の充実を図り、魅力ある仕事の創出を促進します。</p> <p>○関係機関との連携等により、地域企業の経営基盤強化を促進するとともに、DX支援などにより生産性向上を図ります。</p> <p>○本市の強みを踏まえながら、成長分野や地域資源・特性を活かした産業の育成・集積に取り組みます。</p>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題(第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>○課題 施策評価の結果及び新型コロナウイルス感染症による生活様式や働き方の変化などを踏まえ、青森商店街連盟、青森商工会議所やAOMORI STARTUP CENTER等と連携し、商店街における新たな担い手の育成や商店街の自主的な取組の促進により個性と魅力ある商店街の形成に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 商業・サービス・コミュニティ機能等の維持・向上に向け、地域特性に応じた個性と魅力ある商店街づくりを促進し、商店街の活性化を図ります。</p> <p>○課題 施策評価の結果及びコロナ禍におけるリモートワーク等の普及に伴う地方移住への関心の高まりを踏まえ、高校生や大学生等に向けた地元就職を促進する取組に加え、新しい働き方に対応した若者等の地元就職や、情報サービス業等地域ニーズに対応した企業のサテライトオフィスの立地を始めとした企業誘致をこれまで以上に促進するとともに、地元企業や立地環境の情報発信の強化・企業の人材確保の支援等により、雇用対策の推進に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 労働力の確保に向け、若者等の地元就職を促進するとともに、仕事と家庭の両立など、誰もが安心して働くことのできる雇用環境づくりを促進します。また、地域ニーズに対応した多様な企業の立地等を支援・促進します。</p>	<p>○青森市の人口が社会動態も含めてマイナスに向かっているのは、賃金が東京や全国平均に負けているから。特に初任給。賃金に関する指標はないが、そこは考えていく必要がある。</p> <p>⇒【課題等に反映】</p>	<p>○全国的に経営者の高齢化が進んでいる中であって、本市においても、後継者の不在が廃業の要因の一つとして懸念されています。</p> <p>○地域の所得の一部が域外へ流出しており、必ずしも域内で好循環していない状況にあります。</p> <p>○地域の生活を支える商店街は、新たな担い手の減少や郊外大型店、EC販売等による購買機会の多様化により、減少傾向にあります。</p> <p>○進学や就職などを契機とした若者の域外流出が継続しており、本市に魅力ある仕事不足していることが要因の一つと考えられています。</p> <p>○人口減少の進展により労働力が不足していることや、事業所数・就業者数で最も割合が大きい卸売業・小売業において、事業所数、市内総生産額ともに減少していることなどから、地域経済の規模縮小が懸念されています。</p> <p>○首都圏等の企業によるサテライトオフィスの立地や、成長が見込まれる産業分野の進出など、企業の進出形態や業種が多様化しています。</p>	<p>○関係機関と連携し、地域企業の事業承継が円滑に行われるよう支援します。</p> <p>○県や周辺市町村、関係団体等と連携し、域外からの所得獲得や域内での所得循環に向けた取組を促進します。</p> <p>○青森商工会議所や青森商店街連盟、AOMORI STARTUP CENTER等と連携し、商店街における起業・創業の新たな担い手を育成することで空き店舗解消を図り、地域の特性を活かした個性と魅力のある商店街の形成を進めます。</p> <p>○第1次産業から第3次産業までの幅広い分野において、産学官が互いに連携・補完し合いながら、社会環境等の変化を踏まえた地域産業の再生、地域での経済循環を高めるための連携強化、成長が見込まれる産業分野への参入促進、職業能力の再開発・再教育などの取組により、市民所得の向上や雇用促進など地域経済の活性化を図り、魅力ある仕事の創出を促進します。</p> <p>○高校生・大学生などの若者やUターン就職希望者などの地元就職を促進します。また、国・県や関係機関との連携のもと、若者や女性、高齢者などの多様な人材が、多様な働き方により活躍できる魅力ある職場環境づくりを促進します。</p> <p>○県や関係機関との連携のもと、多様化する進出形態に対応した受入態勢の整備等により、企業の立地促進を図ります。</p>

〔行政分野：観光〕

各行政分野の課題(案)及び目指すべき方向性(案) 【第1分科会】 <仕事をつくる>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>【観光】</p> <p>○課題 国内旅行やインバウンド需要の回復により、主要宿泊施設宿泊者数(延べ人数)が概ね順調に推移していることを踏まえ、連携による戦略的なプロモーションにより、広域観光の推進に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 交流人口の拡大に向けて、持続可能な観光コンテンツを造成するとともに、本市の魅力を国内外に発信することにより、広域的な連携による戦略的なプロモーションを強化します。</p> <p>○課題 ポストコロナに向け、観光客数が回復傾向にあることを踏まえ、本市の代表的な観光資源であるねぶた祭や浅虫温泉などを活かした魅力づくりに向けて取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 自然、歴史、文化芸術、食などの地域特性を活かし、四季を通じた魅力づくりを引き続き進めるとともに、浅虫の地域資源を活用した取組などの強化を図ります。</p>	<p>○冬季観光については、手元にある「食」や「文化」を磨いていかないと、魅力増には繋がらない。冬の観光は良くならない。</p> <p>○観光資源は何かといえば、もちろんそれはねぶたであり、浅虫温泉である。</p> <p>○ねぶたの時期に合わせて、地域の伝統行事みたいなものを抱き合わせでやる。長いお祭りみたいなことになれば。</p> <p>○(地域の伝統行事的なものとしては)例えば、油川地区のかかしみたいな。</p> <p>○今まで商品になっていない伝統行事的なものでも、情報発信の仕方次第では商品化に繋がる。可能であれば英語で。</p> <p>⇒【上記5個を、課題等に反映】</p>	<p>○本市は、陸・海・空の交通結節点として広域的なアクセスを可能とする機能を有しており、今後、北海道新幹線の札幌延伸も予定されています。新幹線と航空路線を組み合わせた周遊観光や、クルーズ船の青森港への寄港のほか、国際定期便やチャーター便の就航などにより、本市を訪れる国内外の観光客を今後も増加させていくことが重要です。</p> <p>○本市は、冬季における観光客数が夏季などに比べ落ち込む状況にあります。</p> <p>○周辺自治体等と連携し、観光コンテンツを組み合わせた新たな魅力づくりが重要となっています。</p>	<p>○青森空港、青森港、新青森駅などの交通結節点機能を活かした立体観光の推進に向けて、戦略的なプロモーションを展開します。</p> <p>○市民共有の財産である「青森ねぶた祭」の継承と活用を図るほか、自然、歴史、文化芸術、食などの地域特性を活かし、周辺自治体と連携するなど、通年での魅力づくりを進めます。</p>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>○課題 主要宿泊施設外国人宿泊者数(延べ人数)は目標値を下回っているものの、今後のインバウンドの本格的な回復を踏まえ、多様なコンテンツの造成、フリーWi-Fiの管理・運営や観光ガイドの育成・運営などにより、受入態勢の強化に引き続き取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 国内外からの観光客が快適に周遊・滞在できるように利便性向上を進めながら、ホスピタリティの向上を図り、受入態勢の強化を推進していきます。</p>	<p>○クルーズ船で海外から時間と金を持った客が来るが、金を使ってもらうにはキャッシュレスでなければならない。客が不便だと感じる部分をフォローしないとイケない。</p> <p>○旅行者によっては長期滞在型のパターンもある。長期間、観光客を楽しませる工夫も大事になってくる。</p> <p>○(旅行代理店が取り扱わないような場所であっても、)個人のランドオペレーターみたいな人がいれば案内してもらえる。</p> <p>○ランドオペレーターの話、それは繁忙期の旅行者に対応する人手の不足を解消する部分にも繋がるかもしれない。</p> <p>○年間を通して収入を得たい人には不向きでも、短期間で収入を得たい人には、個人のランドオペレーターのような仕事が向いている。</p> <p>⇒【上記5個を、課題等に反映】</p>	<p>○令和5年度の青森港へのクルーズ船寄港実績が東北で最多となっており、今後も外国人観光客に対して、市内での滞在時間の増加と満足度を向上させる取組が重要となっています。</p>	<p>○外国人観光客などの観光客の快適な周遊・滞在に向け、受入態勢の充実を推進するとともに、ターゲットに応じた効果的な情報発信を行います。</p>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>【農林水産業】</p> <p>○課題 コロナ禍を脱し、社会経済活動が正常化していくなかで施策評価の結果を踏まえ、認知度の向上を図る情報発信や効果的なトップセールスの展開を行うなど地域ブランドの確立や高付加価値化に計画的かつ戦略的に取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 引き続き、市産農林水産品の域内外への販路拡大に向けて、地域ブランド化や高付加価値化、販売力の強化に積極的に取り組みます。</p> <p>○課題 農業者人口が減少している中、高齢化が進むとともに、新規就農者も横ばい状態であり、耕作面積の減少が懸念され、農業経営が弱体化する恐れがあります。</p> <p>○目指すべき方向性 施策の評価結果や市民意識調査の結果を踏まえ、スマート農業等の更なる普及による生産性の向上や農作業の省力・軽労化に向けた取組を実施するとともに、新たな担い手の確保に向け、市外からの移住就農希望者の支援などを通じて、農林水産業の担い手の育成・確保及び経営体質の強化を図ります。</p>	<p>○質のいいコメを作ると高く売れる、そのためには収穫量を減らしてもいい。コメを1条、2条と植える際に条間を空ける。風通しが良くなると、虫が付きにくくなり、使う農薬が格段に少なくなる。</p> <p>○世界的な食料危機の問題から、コメをたくさん買って売ったらいいという考えがある一方で、質のいい高く売れるコメを作る、よって収穫量を減らしてもいいという考えもある。</p> <p>⇒【上記2個を、課題等に反映】</p> <p>○以前に比べればリンゴの単価も上がり、農家として生活できる状況になりつつあるが、新規就農者はなかなか定着しない。</p> <p>○人手不足という状況。今までシルバー人材センターを使ってきたが、草刈りはできても、高いはしごに上るリンゴの作業はできない。</p> <p>○人材をどう確保するのかということ。農業環境、少なくともリンゴに関しては好転しているが担い手がない。</p> <p>⇒【上記3個を、課題等に反映】</p> <p>○すき間で、繁忙期だけ収入を得る方法もある。農家の仕事は基本的に他の職業より賃金が高い。なぜなら大変だから。ただ私としては大変というより、やってみて楽しいというのが感想だったので、そういったところもPRできればいい。</p> <p>○農業もいずれ法人化していかなくてはいけない。自由な経営体制のもとで、例えば2時間でも3時間でも働く人を受け入れつつ、1年中休みがないというイメージを払拭していかないと。</p> <p>⇒【上記2個を、課題等に反映】</p>	<p>○人口減少により市農水産物の需要量も減少し、産地間競争の激化が予想されることから、市農水産物と他産地との差別化を図り、優位性を確保することが重要となっています。</p> <p>○SNSの進展等、多様化する情報入手媒体に的確かつ効果的に対応し、これらを有効に活用できるツールや手法が重要となっています。</p> <p>○市農水産物の高付加価値化と販売力の強化を図るための新商品の企画・開発や販路開拓等の支援が重要となっています。</p> <p>○農業就業人口の減少及び高齢化が進み、これにより耕作面積の減少や遊休農地の拡大、農業経営の弱体化が懸念されます。</p> <p>○新規就農者数はほぼ横ばい状況にあり、また、離農者は増加傾向にあることから、意欲のある新たな担い手の育成・確保、定着化に取り組むことが重要となっています。</p> <p>○農業就業人口及び農業経営体数が減少することから、農地の集約化や経営規模の拡大により、これまでに以上に農業労働力の確保に取り組むことが重要となっています。</p>	<p>○地域特性の高い市農水産物について、消費者の需要動向の的確な把握に努め、関係機関・企業等と連携し、生産段階から販売・流通までの各段階に応じた支援等により、市農水産物の地域ブランド化を推進します。</p> <p>○SNSの積極的な活用やトップセールス、商談会・物産展等への参加により、市農水産物の魅力や特長等について情報を発信し、認知度の向上を図ります。</p> <p>○市農水産物を活用した新商品の企画・開発や販路開拓等を支援し、市農水産物の高付加価値化を図ります。</p> <p>○経営規模の拡大に意欲のある担い手等への農地の利用集積・集約を促進するとともに、スマート農業技術の導入による生産性の向上に向けた取組を促進するなどし、農業経営の合理化・近代化を図ります。</p> <p>○新規就農者や後継者等に対し、相談・研修・就業の各段階に応じたサポートを行うなどし、意欲のある新たな担い手の育成、定着化を図ります。</p> <p>○認定農業者の育成や地域の中核となる集落営農の組織化や法人化を支援するなどし、農業労働力の確保に向けた仕組みづくりに努めます。</p>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
	<p>○鳥獣被害で言えば、リンゴは鳥による被害が多い。スピーカーで音を出すなど対策は講じているものの全然効果がない。</p> <p>○鳥獣被害対策は各市町村でやり方が全然違うらしい。鳥獣は青森市にだけいるわけではない。東青管内は足並みを揃えてやっていくべき。</p> <p>⇒【上記2個を、課題等に反映】</p>	<p>○野生鳥獣による農作物被害が増加傾向にあることから、関係機関と連携した被害防止対策に取り組むことが重要となっています。</p> <p>○コメや畑作物については、国の施策動向や世界情勢等の急激な変化を受けやすいことから、安定的な農業経営の確立に向けた支援が重要となっています。</p> <p>○異常気象等による自然災害や大幅な物価や価格の変動等においても、安定的に農業経営に取り組むための支援が重要となっています。</p> <p>○林業従事者の減少や経営コストの上昇等により林業全体の規模が縮小し、森林所有者の経営意欲が減退している中で、計画的な森林整備が求められています。</p> <p>○市水産業の主力であるホタテガイ養殖は、海水温の高温被害等を受けやすく、近年、温暖化の影響による被害が増えています。</p> <p>○高病原性鳥インフルエンザや豚熱等の特定家畜伝染病の発生等が懸念されており、食の安全・安心や環境にやさしい生産活動への関心が高まっています。</p> <p>○健康意識や環境配慮への関心の高まりを受け、減化学合成農薬や減化学肥料による安全・安心な農水産物への柔軟な対応が求められています。</p>	<p>○国の交付金等を活用しながら、野生鳥獣の種類や地理的条件に応じた、きめ細かな農作物被害対策に取り組めます。</p> <p>○国・県の制度周知とともに作物転換を図る農業者への生産指導を強化するなどし、本市の地域特性を踏まえた高品質で収益性の高い奨励作物や高収益作物への作付転換を促進します。</p> <p>○収入保険等の各種保険制度の重要性について、関係機関と連携し周知を図り、農業者の保険制度への加入を促進します。</p> <p>○青森市森林整備計画に基づき、効率的な森林整備に引き続き取り組むとともに、森林環境税及び森林環境譲与税の活用等による森林管理・活用について検討します。</p> <p>○国・県や関係機関と連携し、安定的にホタテガイ養殖を継続できる環境整備や水産業の経営の多角化などによる経営の強化を図ります。</p> <p>○市畜産物の安定供給を確保するため、畜産事業者及び県等の関係機関・団体との連携を密にし、円滑かつ適切な特定家畜伝染病対策等に取り組めます。</p> <p>○消費者ニーズに対応した安全・安心な農作物の生産や、稲わらなどの有機資源を活用した土壌づくりなど、健康や環境等に配慮した農業の普及を促進します。</p>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>○課題 ほ場整備が未実施の地区については、耕作放棄が進み農地の有効活用が図られていない状況にあります。森林については、長期的な木材価格の低迷や経営コストの上昇により林業全体の規模が縮小し、森林所有者の経営意欲が減退しています。漁港については、県と連携を図りながら、老朽化対策や機能強化に計画的に取り組む必要があります。また、卸売市場年間取扱高については、人口減少や市場外流通の増加による影響によって、市場取扱高が減少傾向にあることが課題となっています。</p> <p>○目指すべき方向性 農林水産業の生産基盤である農地や森林、漁港等の整備や適正な管理を通じて、優良農地の確保や森林が持つ多面的機能の維持・発揮、水産資源の保護を図ります。また、流通環境の変化に対応するため、販売力の強化等の取組により市場機能の充実を図り、市場取引の活性化を促進します。</p>	<p>○農地の大規模化に向けた取組が必要。</p> <p>○コストを下げるということを考えれば、1箇所を集積していくというのが一番良い。</p> <p>⇒【上記2個を、課題等に反映】</p> <p>○卸売市場の年間取扱高が細っている。ホタテでも、リンゴでも、コメでも、気候や人間的な問題もあって生産量縮小やむなしとはいえ、いろんな道を探らなければいけない。</p> <p>⇒【課題等に反映】</p>	<p>○農業就業人口の減少等により遊休農地が増加していることから、農地の利用集積・集約化への取組が重要となっています。</p> <p>○卸売市場については、人口減少や市場外流通の増加による影響等により、年間取扱高が年々減少傾向にあります。</p> <p>○農道や林道、水路、林道橋等の農業基盤施設の老朽化が進み、農業経営に影響を及ぼしています。</p> <p>○漁港・漁場の整備は、漁業生産力に影響を及ぼすことから、老朽化対策や機能強化への取組が重要となっています。</p> <p>○市農水産施設の老朽化への対応や、機能整備の充実が重要となっています。</p>	<p>○農地の多面的機能の維持・発揮を図るとともに、営農の効率性・生産性の向上を図るため、ほ場整備や区画化による担い手への農地利用集積・集約化に取り組みます。</p> <p>○卸売市場の生鮮食料品などの流通拠点としての機能を発揮するため、取引参加者の増加対策や物流の効率化を促進するなど、取引の活性化に取り組みます。</p> <p>○農業基盤施設の計画的かつ的確な維持管理により、適切な農業環境の維持及び生産コストの低減等を図ります。</p> <p>○国・県と連携し、漁港機能の高度化と快適な漁港環境の形成を進めるとともに、漁礁や増殖場の造成など、漁業生産力の向上に努めます。</p> <p>○老朽化した設備・機能の改善と将来の人口動向を見据えた適正規模での施設整備に向けて検討します。</p>

〔行政分野：その他〕

各行政分野の課題(案)及び目指すべき方向性(案) 【第1分科会】 <仕事をつくる>

R5施策評価で各部局から出された課題と目指すべき方向性(参考)	追加すべき課題 (第1回分科会での御意見)	課題(案)	課題(案)から整理した目指すべき方向性(案)
<p>【その他】</p> <p>○課題 人口減少とともに一層の高齢化の進展に伴い、生産・消費などの経済活動の衰退や、過疎化が進行する地域での福祉・教育など行政サービスの維持が困難となるおそれがあり、地域活力の維持・向上を図る必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 人口減少・少子高齢社会においても、圏域全体に求められる経済活動や福祉・教育などの維持や発展に取り組むため、今後も引き続き、東津軽郡4町村をはじめとした近隣地域との広域連携を推進します。</p> <p>○課題 新型コロナウイルス感染症による生活様式や働き方の変化などを踏まえ、地方への回帰志向の高まりを好機と捉え、新しい形での移住・定住の促進へ向け引き続き継続して取り組む必要があります。</p> <p>○目指すべき方向性 地域間交流イベントへの参加や開催、国際交流員による異文化理解講座等、交流機会の創出により、国際・国内交流の推進に引き続き取り組むとともに、移住・定住の促進を図ります。</p>	<p>○青森市はこの広域圏の中心都市として、鳥獣の管理も含めて様々なことに取り組んでいかななくてはならない。</p> <p>○現状、スタートアップセンターは、「セミナーやっているから来てください」、「相談あったら来てください」となっている。サテライト的な機能で、例えば今別や外ヶ浜などとオンラインで繋げることで、スタートアップセンターの力をより活かせるのではないか。</p> <p>⇒【上記2個を、課題等に反映】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 20px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>○青森の人は、海外の人に対してどう接したらいいのか分からない。自分たちの住んでいるところに目を向けつつ、青森の素晴らしさを自分たちの言葉で発信していくことが必要。</p> <p>○外国人に対するコミュニケーション意識の低さについて。学生を見ている、あれだけ多くの留学生がいるのに話をしない。話さなくてもいい人とは話さない、みたいなものが出来上がってしまった。それを変えるには、結局、人と交わらないといけない。</p> <p>⇒【第2分科会「その他」分野(国際交流)の課題に反映】</p> </div>	<p>○人口減少や一層の高齢化に伴い、生産・消費などの経済活動の衰退により、福祉・教育など市町村単体では行政サービスの維持が難しくなることを見込まれ、都市間・地域間の連携により、地域の活性化につなげていくことが重要となっています。</p> <p>○人口減少やデジタル化など社会情勢が急速に変化していく中で、複雑化する行政ニーズや多様化する地域課題を行政単体で解決することは困難となっています。</p> <p>○近年、転入よりも転出する人口が多い社会減が続いており、新型コロナウイルス感染症の影響により平成30年度の△1,126人から、令和4年度の△815人と改善がみられたものの、依然として就職や進学による若年層の社会減が高い水準にあります。</p>	<p>○東津軽郡4町村をはじめ、青函交流など近隣地域との広域連携を推進します。</p> <p>○複雑化・多様化する行政ニーズや様々な課題に対応するため、行政の信用力・影響力、民間のアイデアやノウハウ、スピード感など、それぞれの強みやリソースを結集し民間力を活かした公民連携を推進します。</p> <p>○働き方やライフスタイルの多様化、地方への回帰志向の高まりを踏まえ、地域とのかかわりを重視した新しい形での移住・定住を促進するとともに、関係人口の創出を図ります。</p>